

仮設用

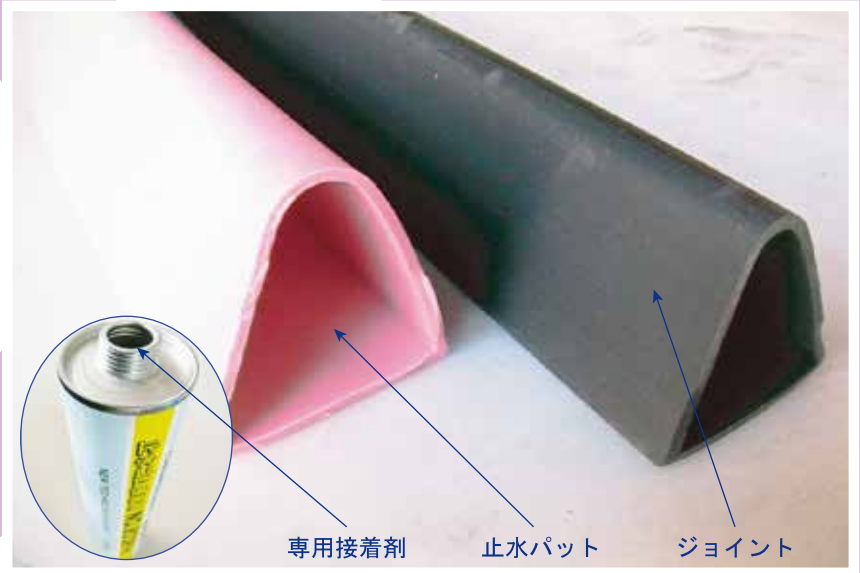
止水パット

特許権登録番号 特許第4171710号
(大林組・大千共同特許)
製造元 株式会社 大千

弾性に優れた素材と形状、踏まれても直ぐに元の形状に復元！カーブにも対応
建築・土木現場の床面に施工、水の流れをコントロールします！

特徴

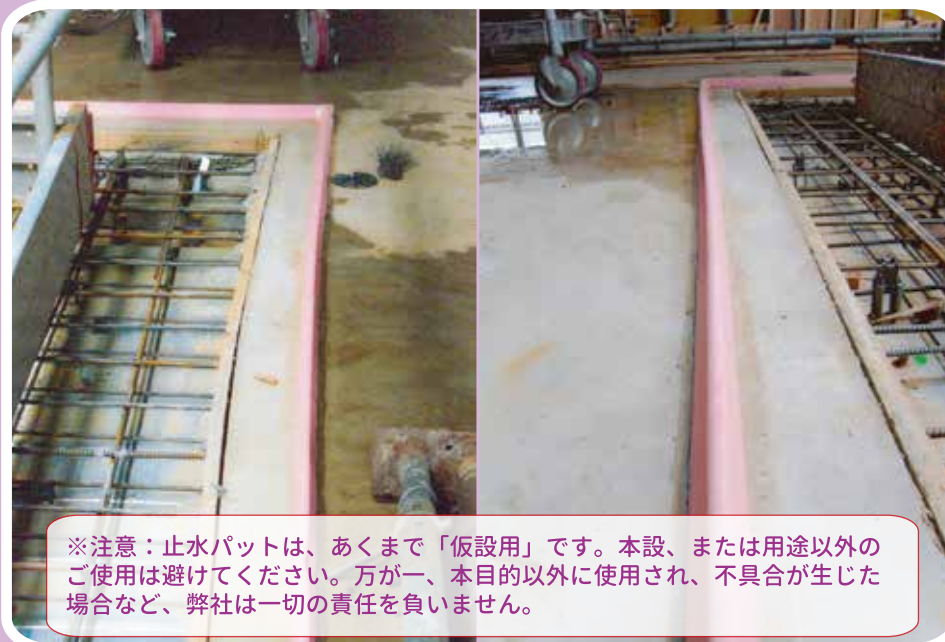
- ◆ 水の流れを制御する仮設用パット。台車・高所作業車などの乗り越えがスムーズで、踏まれてもすぐに元の形状に復元
- ◆ 剥がれても簡単作業で元の状態に回復
- ◆ 主な使用場所は、各所開口部、階段周辺部、特にタワークレーンの足元まわりや揚重用のロングスパンエレベーター開口部まわり、ガラス施工前の外周部など
- ◆ 撤去後、接着剤など多少跡が残りますが、床面を傷つけることはありません。



規格

タイプ	長さ	幅	高さ
止水パット	1500 mm	42 mm	40 mm
ジョイント	1500 mm	40 mm	38 mm
止水発泡材	1000 mm	40 mm	40 mm
専用接着剤	内容量：333 ml 目安：1.5～1.7m で1本を使い切る		

※専用接着剤は止水パット用に独自開発されています。施工時には、必ずこの接着剤を用いてください
※ジョイント/止水発泡材は、適時カットして使用します



※注意：止水パットは、あくまで「仮設用」です。本設、または用途以外のご使用は避けてください。万が一、本目的以外に使用され、不具合が生じた場合など、弊社は一切の責任を負いません。



販売代理店 建築養生材料製造販売
すばらしい仕上げと、トータルメリットに貢献する
宝養生資材株式会社
TAKARA PROTECT MATERIALS CO.,LTD

〒216-0015
神奈川県川崎市宮前区菅生2-19-17
電話：044-976-0666 (代) FAX：044-976-4688
メールアドレス：order@takara-youjyou.com
URL：www.takara-youjyou.com



従来の止水方法のデメリットを解消

従来の止水方法	デメリット
モルタルを床面で堰状に形成する	モルタルの硬化によりひび割れが発生、常時、メンテナンスが必要になる
栈木をコンクリート釘で床面に打ち付けシールする	栈木自体に水が浸透し、止水の役目を果たさなくなる
カーテンウォールやサッシの接続部に使うバック材を固定してシールする	弾力性に欠けるバック材は作業車や移動用台車の防げとなった

長所：

- ・左記デメリットの解消
- ・車輪の乗り越えが可能
- ・カッターやハサミで容易に切断できる

短所：

- ・長期使用の際は若干のメンテナンスが必要
- ・仕上がりにより、耐久性にバラツキあり
- ・軟粘性のため接着剤の跡が多少残る

※重要：止水パットはあくまで「仮設用」です。設置後、重機・車両で乗り入れた状態で方向転換したり、足で引っかけたりすると剥がれることがありますが、反面、専用接着剤を使えば、簡単に元の状態を回復できます。



効果を持続させるコツは清掃と下地作りです
設置場所が濡れている場合はバーナーで乾かし
スクレーパー、皮スキ、左官バケ等で設置面を清掃



止水パットを真っ直ぐに施工できるよう
設置面にマスキングテープを使って位置取りします
塗布した接着剤はゴムベラ、皮スキなどで均等に伸ばします



設置には、必ず専用の接着剤を使いましょう
ジョイント部(黒)は10cm~15cmにカットして使用します
止水パットを設置し、ガイドとして使用していたテープを除去



止水パットのジョイント部分、および
水の流れ込む側にシーリングします
(ポリウレタン系シーリング剤を推奨)

使用方法について

初めて使用する場合、当社/メーカー担当者による使用説明を受けていただく必要があります(実費は別途請求)。詳細は、弊社営業部までお問い合わせください。



発泡剤を使用すれば
角部や終端部を補強できます
ヘラを使って綺麗に仕上げます